

道写協

北海道写真協会

事務局 札幌市中央区大通西3丁目北海道新聞社事業局内
 011・210・5731(直通) 011・210・5734(FAX)
<http://www.dosyakyu.org/>

第105号

五名の新会友誕生

支部長会議(総会)終了

平成二十度支部長会議(総会)の報告を大平博雄
 会務委員にお願いし、以下に掲載します。



五月十七

日(土)午後

一時三十分よ

り、北海道

新聞社七階

特別会議室

において支

部長会議(総

会)が開催

されました。

全道二十

二支部から

集まった支

部長と橋本

顧問、武藤

副会長、若

林事務局長、

各会務委員が出席のなか、議長には岩見沢支部長

の尾崎和男氏が選出され議事に入りました。

一 事業報告(本郷会務委員)

1 役員会・企画委員会・道展実行委員会報告

第五十五回写真道展審査委員長に「大石芳野
 さんに決定」表彰式当日にトークショー開催、道写

協ホームページに会報の掲載、学生写真道展への前
 回同様の取り組みについてなど。

2 第五十五回写真道展の報告
 公募、学生共に前回を上回る応募人数、応募点
 数であった。デジタル写真の応募は全体の約半数を
 占めた。

3 事業報告
 巡回展は全道十七箇所で開催。写真道展審査
 委員の各支部派遣八支部。支部年度賞の授与申請
 十支部。

二 決算報告

1 写真協会決算報告(滝野、阿部会務委員)

収入の部では前年に引き続き会員の減少による
 収入減となっている。支出ではほぼ例年通りの支出
 状況である。各会計報告の後、本谷内会計監査委
 員より「適正かつ正確に執行されている」旨の監査
 報告があった。

三 事業計画(案)(本郷会務委員)

「第五十五回写真道展」「審査員会・会友作品展」
 をギャラリー大通美術館で開催後、全道十六会場
 で巡回展開催。審査委員の支部派遣、支部年度賞
 の授与と例会作品審査補助。第五十六回写真道
 展第二十七回学生写真道展の受付と審査。第二
 十七回学生写真道展は道新ぎやりにて開催。
 ホームページ支部入会案内に支部長の住所、電話の
 掲載について異議なく承認。写真道展応募規定の
 改善について役員会で検討していく。

四 会計予算(案)

1 写真協会予算(案)(滝野、阿部会務委員)

収入の部は前年より幾分減少傾向となる。新入
 会員は三十七名を見込んでの予算化。

2 積立金会計、第五十五回写真道展特別会計
 (本郷会務委員)

第六十回記念事業積立金、積立金(備品費)、第
 五十五回写真道展特別会計(中間報告)

現在凍結中である備品購入費を一般会計予備費
 に充当措置、その支出に当たっては役員会で協議決
 定していくことで異議なく承認された。

3 第五十五回写真道展収入、支出執行状況
 (中野会務委員)

収入の部は一般応募者と道新からの分担金の増
 加で、予算を上回った。支出の部は、展示費用表彰
 費など金額的に大きな費用がこれからの支出とな
 るが、第五十四回展と同様な決算見込みとなりそ
 うである。

議長より二十年度事業計画、予算案について質
 疑を諮ったが異議無く承認された。

五 会友申請報告(本郷会務委員)

奈井江支部の田澤康史さん、紋別支部の竹岡孝
 二さん、岩見沢支部の小泉栄子さん、苫小牧支部の
 佐々木義道さん、オホーツク支部の伊藤三郎さんの
 五名が新会友として承認された。

六 その他

・功労賞・感謝状表彰

この度功労賞を受賞された奈井江支部の長尾
 学さんは昭和五十八年から平成四年まで副支部長
 として、また、平成五年から現在まで支部長とし
 て、通算二十五年以上にわたり、支部活動の中心的
 役割を果たし、支部発展に寄与しました。また、同
 支部の田澤康史さんの十五年にわたる副支部長と
 しての貢献に感謝状がおくられました。

お二人の長年のご功績に感謝申し上げます。

・写真展作品集の販売割当

繰越金(残高)があるが、今後の推移を見ていき



武藤副会長より賞状を受ける長尾氏

・写真道展巡回展日程

室蘭支部の会場と日程の変更▽平成20年12月
 12日(金)～14日(日)まで、会場はNHK室蘭放送
 局プラザミュー

・会員増のための具体的な取り組みについて、釧路、
 帯広、小樽などの支部から話があった。

また、応募要項の各支部の規定について検討してい
 きたいという役員会の意向について、活発な意見が
 出された。

最後に尾崎議長退任の挨拶で、無事終了。
 皆様のご協力に感謝申し上げます。

大石芳野トークショー盛大に

五月十八日(日)午前十時三十分、道新会議室に
 おいて、写真協会会員、一般あわせて百五十名が参
 加して、大石芳野さんの講演が行われました。

橋本博顧問による紹介の後、大石さんより四十
 年間にわたる写真活動を振り返り、ベトナム、カン
 ボジアでの撮影では、戦争の傷跡を数年間かけ取
 材し、そこで生活する人々の暮らしの建て直してい
 る姿に感動したこと、日本の庄内地方に五百年間
 伝わる「黒川能」に興味を抱き、そこで撮影した写
 真を映像で説明され、この伝統芸能がこれからど
 う変化していくのかカメラを通して見続けたいと
 熱意あふれるお話で、盛況のうちに終了しました。

(本郷記)